

超巨大海洋構造物を現地まで安全に曳航

設計・解析技術

海洋工事技術

ICT

リニューアル技術

水域環境技術

河川・湖沼工事技術

お客様のメリット

- 当社独自の動揺解析プログラムで施工の安全性を高めます。
- 現地計測や実験による計画支援・施工支援も行います。

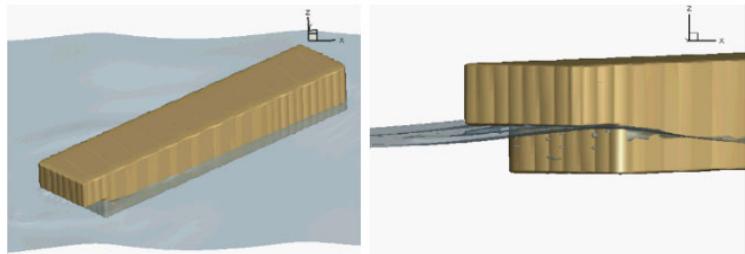
技術の特徴

巨大な海洋構造物は、一般的にドックなどで建造後、“浮力”という自然の力をを利用して現地まで曳航されます。曳航には、浮体の種類に応じて広範囲の技術が要求され、施工までに解明すべき技術的課題が多くあります。

大成建設は、浮体に関して独自に開発した動揺解析プログラムをはじめ、数多くの模型実験や現地での観測によるデータの蓄積をもとに、これらの技術的課題を解決します。

【主な技術的課題】

- ・曳航抵抗の推定と曳航計画
- ・浮体復元安定性
- ・浮体の波浪応答
- ・動揺による搭載物への影響評価
- ・被曳航体の保針性（真っすぐ進む性能）
- ・曳航ルートの気象・海象予測



曳航中の波浪影響の三次元動揺解析



コンクリートプラントバージの曳航状況

実績・事例

明石海峡大橋 3P下部工（その2）工事
南北備讃瀬戸大橋

他多数



大成建設株式会社

For a Lively World

品質向上

コスト縮減

工程短縮

安全向上

環境配慮

維持管理

MR-0106